

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	①	健康づくりの推進

事業名	あしゆびプロジェクト事業(健康づくり課)	担当課名	健康づくり課
-----	----------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
あしゆびから健康な身体づくりを目指し、全身を支える土台である足機能の重要性を周知するとともに、足を正しい状態に整え、正しい姿勢と動作で健康な身体を維持するため、足の状態の可視化や健康教育により健康な身体づくりにつなげる。
(事業概要等)
健康イベントや健診会場、健康教室であしゆび力測定を実施し、足の健康状態を見える化するとともに、足部、姿勢、呼吸の状態を計測し、身体を正しい状態に整えるためのトレーニングに取り組むことで健康づくりを目指す教室の開催や、リーフレット等を用いて足機能の重要性について周知を行う。 また、対外的にあしゆびプロジェクトの政策効果を発信できるように、効果の検証をするための評価指標と評価方法を設定する。

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,407	2,746	15,778	22,653	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
あしゆび力測定者数	人	791	1,589	2,224	2,300
あしゆびプロジェクト事業参加者	人	-	-	43	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
あしゆびを鍛え、正しい姿勢と動作、呼吸により健康な身体づくりを目指した教室では、教室参加により意識の高まりや身体に良い変化を感じた方が多く、取り組みによる行動変容を促すことができた。 また、ライフステージごとの取り組みを整理し、ロジックモデルを作成することで目標達成までのプロセスが明確化され、事業評価のための評価指標と評価方法を設定することができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	令和2～4年度にかけて取り組んできたオーダーメイドインソールを活用した市民モニター事業で得られた結果を踏まえ、より主体的に足の状態を整えることができるよう、足部の測定と健康状態を向上させるためのトレーニングを加えた教室を開催した。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	Expo2025大阪・関西万博を見据え、対外的に政策効果を発信していくため、設定した評価指標・評価方法に基づき、効果検証を行っていく必要がある。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	政策効果を検証し、対外的に発信するための軌跡周知ツールの作成と、あしゆび力を強化するための向上ツールの作成に取り組む。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もががすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	①	健康づくり推進

事業名	健康管理事業	担当課名	健康づくり課
-----	--------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市民の健康寿命の延伸および生活の質の向上に向け、生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、市民の健康の保持増進を目的に実施。

(事業概要等)

- ①健康状態の見える化
- ②子育て世代・働く世代を対象とした運動講座の実施
- ③生活習慣病の予防を目的とした健康づくり講座の実施
- ④電話・窓口等での健康相談による正しい知識の普及啓発
- ⑤いずみおおつ健康食育計画の推進

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	870	1,094	1,654	9,951	
うち市負担分(千円)	584	728	1,262	9,256	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
健康教育受講者数	人	1,531	3,624	3,839	4,000
子育て世代・働く世代をターゲットにした運動講座(再掲)	人	90	104	139	200
健康状態の見える化測定者数	人	-	1,460	4,115	4,600

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

幅広い年齢層の市民が、自身の身体の状態を見える化し、未病状態の気づきを促すことができるように、健康チェックDayの実施や健康イベントやけんしん時の待ち時間に測定ブースを設け測定する機会を増やしたことで、健康状態の見える化測定者数の目標値を達成することができた。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	健康事業に関する情報弱者への働きかけとして、健康づくりに役立つ情報をまとめた保健事業案内を制作した。また、地域に出向いて健康に関する正しい情報の啓発をする「出前講座」に、健康状態の見える化測定を加え「おでかけ保健室」として実施した。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	子育て世代・働く世代が健康教育や運動講座、健康状態の見える化測定に参加しやすい環境づくり。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	健康チェックDayやおでかけ保健室に加え、乳幼児健診の待ち時間を活用した健康チェックや、体組成測定器の常設により健康状態の見える化できる機会を増やす。また、これまで推進してきた「いずみおおつ健康食育計画」が令和6年度で計画期間終了を迎えることから、泉大津市健康づくり推進条例がめざす「市民のヘルスリテラシー向上」と「健康づくりを推進していく気運の醸成」を実現に向け、「第4次いずみおおつ健康食育計画」を策定し、更なる健康づくりと食育の推進に努める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	①	健康づくりの推進

事業名	健康力向上プロジェクト事業	担当課名	健康づくり課
-----	---------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくりの実現のため、病気になる前の未病予防対策等により様々な健康課題を改善し、心身の健康状態を高めるための健康状態の見える化や、ヘルスリテラシーを高め自分に合った健康づくりに取り組むことで、生活の質(QOL)の向上につなげることを目的とする。
(事業概要等)
【いずみおおつ健活推進事業】大阪府が実施する健康サポートアプリ「アスマイル」に市町村オプションサービスを導入。市民の健康活動にインセンティブを付与し、主体的に健康づくりに取り組むきっかけづくりとする。 【健康力向上プロジェクト事業】健康づくりへの気づきのサポートや未病予防対策、健康状態の可視化を含む健康づくりへの多様な取り組みを官民連携・市民共創により実践する。 【未病予防対策】泉大津市健康づくり推進条例の啓発、新たな健康づくり拠点の体制整備。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	14,944	26,079	27,222	
うち市負担分(千円)	-	10,267	12,894	24,300	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
アスマイル登録者数(泉大津市会員)	人	-	2,912	4,013	4,700
健康力向上プロジェクト参加者(セルフ健康チェック)	人	-	20	19	20
健康力向上プロジェクト参加者(女性の健康課題改善)	人	-	97	96	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
アスマイル登録者数は、対象市民の7%を目標としていたが、6.41%と目標には届かなかったものの、昨年度から1,101人登録者数を増やし、開始時から2,542人の増加となった。 健康力向上プロジェクト事業の健康づくりへの気づきサポートとして実施したセルフ健康チェック教室では、全ての参加者に意識の変化や行動変容を促すことができた。また、女性の健康課題改善の取組では、不定愁訴の改善割合52.4%、運動習慣が定着した割合12.4%アップ、健全年齢の改善割合71.8%で、ヘルスリテラシーの向上や未病予防意識の醸成につながった。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	健康力向上プロジェクトでは、モニター以外の市民のソリューション受講や、講座の動画視聴ができるようにし、参加者以外にも広く未病予防について啓発できるよう取り組んだ。 また、様々な場面での健康状態の見える化や多様な健康づくりに取り組むための新たな健康づくりの発信拠点体制整備支援については、事業者ヒアリングや官民連携でのイベント開催などを通して、運営体制などを検討した。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	新たな健康づくりの発信拠点について、取り組み内容や、事業者との連携等について更なる検討が必要。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	引き続き、未病対策先進都市をめざし、新たな健康づくりの発信拠点整備や、市民が主体的に健康づくりに取り組める体制の整備を進めていく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	①	健康づくりの推進

事業名	食育推進事業	担当課名	健康づくり課
-----	--------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
令和2年3月に第3次計画となる「いずみおおつ健康食育計画」を策定。食の体験活動を通して食べることの楽しさや大切さを感じ、食への興味を育むとともに食の知識を身につけることで健康的な食生活を実践し、健康な身体づくりをはじめ、健康づくりにつなげる。
(事業概要等)
体験活動：親子で取り組む食の体験活動(わくわく食育体験)、腸活食育講座(親子みそ作り教室)、学童思春期食育講座(はじめてクッキング)、青壮年・高齢期の食育講座(ベジたん料理教室) 啓発活動：推定野菜摂取量測定器での食生活見える化、食育展・乳幼児健診・掲示物等での食育啓発 統一献立給食：市内就学前施設及び小中学校での給食を利用し、統一メニューを実施 食のボランティア育成：食と栄養・健康づくり教室(全9回講座)の実施

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	574	505	738	1,518	
うち市負担分(千円)	526	431	655	796	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
わくわく食育体験参加者	人	205	145	74	100
親子で取り組む食の体験活動参加者(腸活)	人	-	50	81	160
食の体験活動参加者(ライフステージ別)	人	8	3	32	32

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ベジチェック(推定野菜摂取量測定器)での食生活見える化や、野菜摂取推進の環境づくりに取り組んだ。また、腸内環境を整え、免疫力を高めることが健康づくりにつながることから、家庭での食生活見直しや未病予防のきっかけづくりとして、親子参加型の腸活食育講座を実施。定員を超える申し込みがあり、食育推進や健康づくりへの意識の向上につながった。統一献立給食では、市内栄養業務担当者が連携して新メニューを考案し、令和5年度から年2回統一献立給食を実施していくこととなった。

【事業の見直し】

R4年度からの変更点・改善点	わくわく食育体験では、令和2～4年度にかけて土袋を活用した栽培体験を行ってきたが、令和5年度から地域のコミュニティー農園を活用し、畑での食育体験を再開することができた。
----------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	今年度新たに実施した腸活食育講座では、定員を上回る申し込みがあったため、より多くの人が参加できるよう、実施回数の見直しが必要である。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	食の体験活動の機会を増やし、食育推進の気運醸成を図るとともに、食生活改善に向け、野菜摂取の啓発や環境づくりを推進していく。 また、情報発信として、食育推進全国大会へブース出展し、対外的に市の取り組みを発信していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	②	健康づくり推進
事業名	アピランスサポート事業		担当課名	健康づくり課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
がん患者の療養生活に対する質の向上、がん治療と社会参加の両立及び経済的負担の軽減を図る。
(事業概要等)
がんの治療に伴う外見上の変化により、社会参加への不安や悩みを持つがん患者の方に医療用ウィッグ及び乳房補正具の購入費用の1/2を助成(上限額2万円)する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	401	179	600	
うち市負担分(千円)	-	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
ウィッグ助成	人	-	23	10	-
乳房補正具助成	人	-	1	1	-
(指標を設定できない理由)					
目標設定に適さない事業のため					
(成果の概要)					
がん患者に医療用ウィッグや乳房補正具の購入費用を助成することにより、がん治療による外見上の悩みに対して支援を行い、がん治療と社会参画の両立及び経済的負担の軽減を図ることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	事業評価のために申請者を対象にアンケートを実施
--------------------	-------------------------

【事業の課題】

課題・問題点	ウィッグや乳房補正具は消耗品のため、定期的には新調する必要があるが、助成申請は一人につき生涯一度限りの助成のため、新調したウィッグや乳房補正具には助成制度が適用できないことが課題である。また、経済的負担の軽減のほかにはメンテナンスができるお店の紹介や治療・副作用についての情報提供を希望される声もあり、幅広い情報提供についても今後検討する必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	がん罹患された方の中には、抗がん剤や放射線治療の影響による脱毛や手術による乳房切除など、外見上の変化により社会参画への不安を持ちつつ日常生活を送っている方が多く、支援が必要となるため事業を継続するとともに、ウィッグや補正具のメンテナンス、治療のこと等幅広い情報の提供を実施し、引き続き不安の軽減に努める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	②	健康づくり推進

事業名	健康診査事業	担当課名	健康づくり課
-----	--------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

健康に関する正しい知識の普及及び生活習慣病の発症を予防し、生涯にわたり健康的な生活習慣を獲得できるよう動機づけを行うことを目的とする。

(事業概要等)

- ①16歳以上の市民及び生活保護受給者に対する健康診査。40歳以上の市民に対する肝炎ウイルス検診(生涯1回限り)及び骨粗しょう症検診。40歳から70歳の5歳刻みと75歳以上の生活保護世帯の市民を対象とした成人歯科健診。
 ②在宅訪問歯科健診については、65歳以上75歳未満の通院が不可能な市民のうち、健診を希望する者はケアマネジャー等から申請し、自宅へ歯科医師が訪問し健診を実施する。健診項目は、全身状態・機能所見・口腔清掃状況・口腔内診査・保健指導。
 ③40歳以上を対象とした胃がんリスク検査(生涯1回限り)を実施する。

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,397	7,364	8,006	9,811	
うち市負担分(千円)	5,253	5,253	6,119	6,433	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
健康診査	人	456	459	449	525
成人歯科健診	人	105	132	142	215

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

健(検)診受診により、自らの健康状態を把握する機会や健康行動の動機づけを行う機会となっており、ヘルスリテラシーの向上に努めることができた。但し、健康診査受診者数は前年よりわずかに減少、成人歯科健診受診者数は令和4年度より増加傾向にあるが目標値に届いていない。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	健康診査は特に変更点なし。成人歯科健診は令和5年度よりアスマイル泉大津市ポイントの対象項目に追加、未受診者勧奨を実施。
--------------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	歯の健康は、さまざまな病気を引き起こしたり悪化させる原因となるため、成人歯科健診の受診者数増加に向けた周知と健康行動への普及啓発の取組が課題である。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	自らの健康状態を把握することは、生涯に渡って健康的な生活習慣を獲得するうえで必須となるため、各種健(検)診を継続し、市民のヘルスリテラシーを高め未病予防に努める。また成人歯科健診においては令和6年度から対象年齢を拡大し、より幅広い世代への受診勧奨に努める。 また、府の健活マイレージ「アスマイル」の市民ポイントの付与対象に骨粗しょう症検診を加え、女性の健康づくりを推進するための環境を整備する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	②	健康づくりの推進

事業名	新型コロナワクチン副反応等対策事業	担当課名	健康づくり課
-----	-------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	新型コロナワクチンの副反応や新型コロナウイルス感染症の後遺症などで悩まれている方の不安や、身体的・経済的負担の軽減を目的とする。
(事業概要等)	新型コロナワクチンの副反応や新型コロナウイルス感染症の後遺症などで悩まれている方を対象に、相談及び症状を軽減するための支援等を実施するとともに、新型コロナワクチンによる副反応により健康被害を受けた方に、医療費などを支援金として支給する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	-	19,799	23,693	
うち市負担分(千円)	-	-	7,099	2,276	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
新型コロナワクチン健康被害支援金支給人数	人	-	-	3	-
オンライン相談	人	-	-	13	-
後遺症改善プログラム参加者数	人	-	-	21	-
(指標を設定できない理由)					
事業の性質上、目標値を設定できないため。					
(成果の概要)					
支援金の支給については、国の予防接種健康被害救済制度を申請した全員に支援金を支給した。国制度の申請結果が出るまでに1年以上かかる現状の中、早期に支援金を支給することで継続受診等に対する経済的負担の軽減を図ることができた。R5年度の後遺症改善プログラムについては、自律神経評価による総合健康度が、参加者の67%が参加前後で改善した。また、他にも「痛みが和らいだ」、「前向きな気持ちになれた」などの効果を実感する意見が多く聞かれ、身体的・精神的な不安や負担の軽減を図ることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	R6年度からは新型コロナワクチンの接種がB類疾病の定期接種に変わり継続されるため、引き続き副反応等に対する支援を継続するとともに、ワクチンに関する最新情報の提供により市民の不安の軽減及びヘルスリテラシー向上を図ることが必要である。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	引き続き、新型コロナワクチンの副反応や新型コロナウイルス感染症の後遺症などで悩まれている方への身体的・精神的・経済的な負担の軽減を行うとともに、ワクチンに関する最新情報の提供に取り組んでいく。